

新型インフルエンザ(H1N1)の 流行入りを迎えるに当たって

厚生労働省

2009年8月19日

感染症発生動向調査-速報データー

インフルエンザ定点当たり報告数・累積報告数、都道府県別

2009年32週(08月03日～08月09日)

区分	インフルエンザ	
	報告数	定点当たり
総数	4,630	0.99
沖縄県	1,181	20.36
奈良県	102	1.85
大阪府	496	1.80
東京都	466	1.68
長崎県	105	1.50
・	・	・
宮城県	14	0.15
熊本県	12	0.15
秋田県	7	0.13
新潟県	11	0.11
富山県	3	0.06

感染症発生動向調査

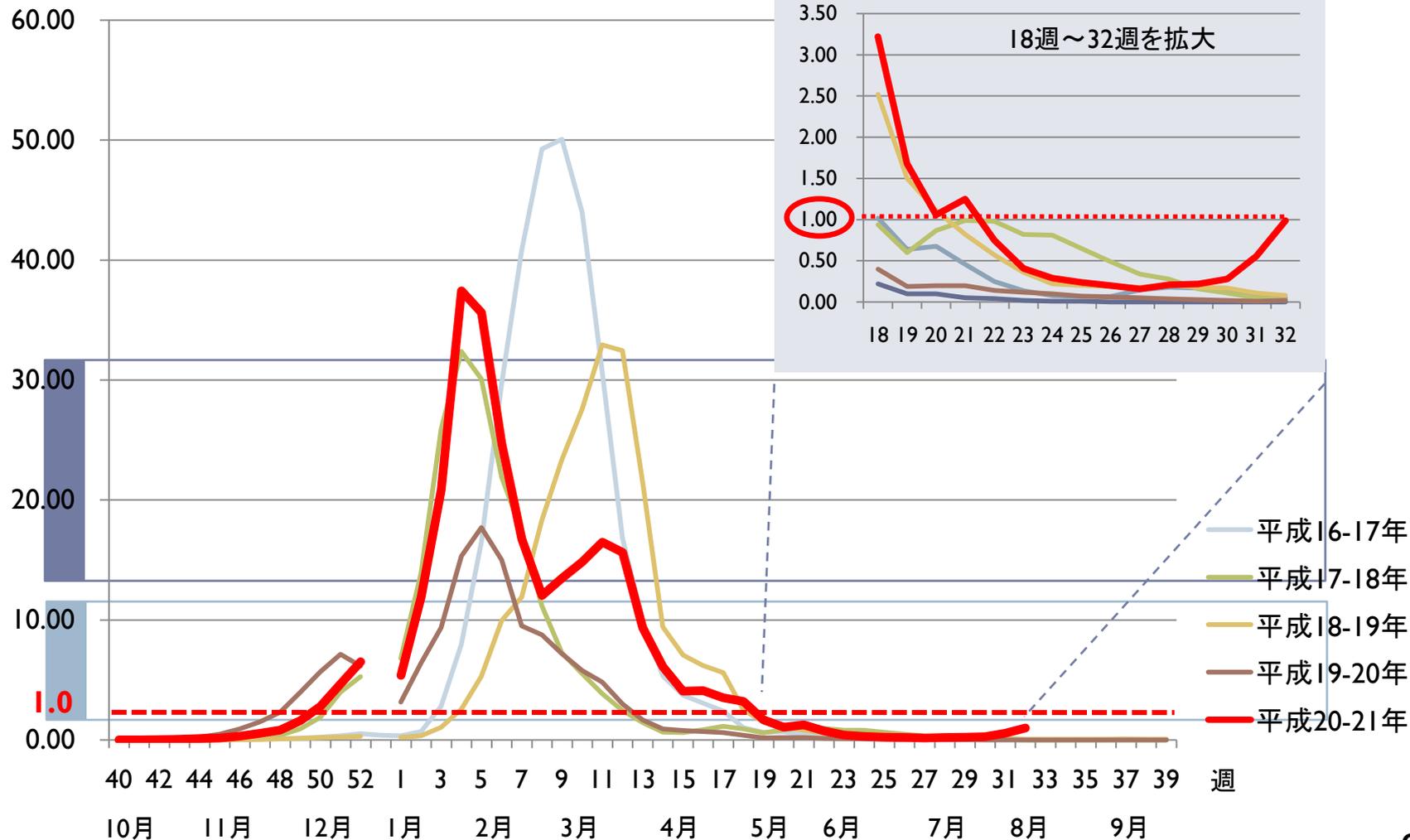
○医療機関から、保健所を通して、国立感染症研究所に報告。

○例年、定点あたり1を超えると「インフルエンザ流行入り」として注意喚起を行っており、今般の新型インフルエンザについても本格的な流行入りが始まっている可能性がある。

インフルエンザサーベイランス

年別・週別発生状況

定点あたり報告数

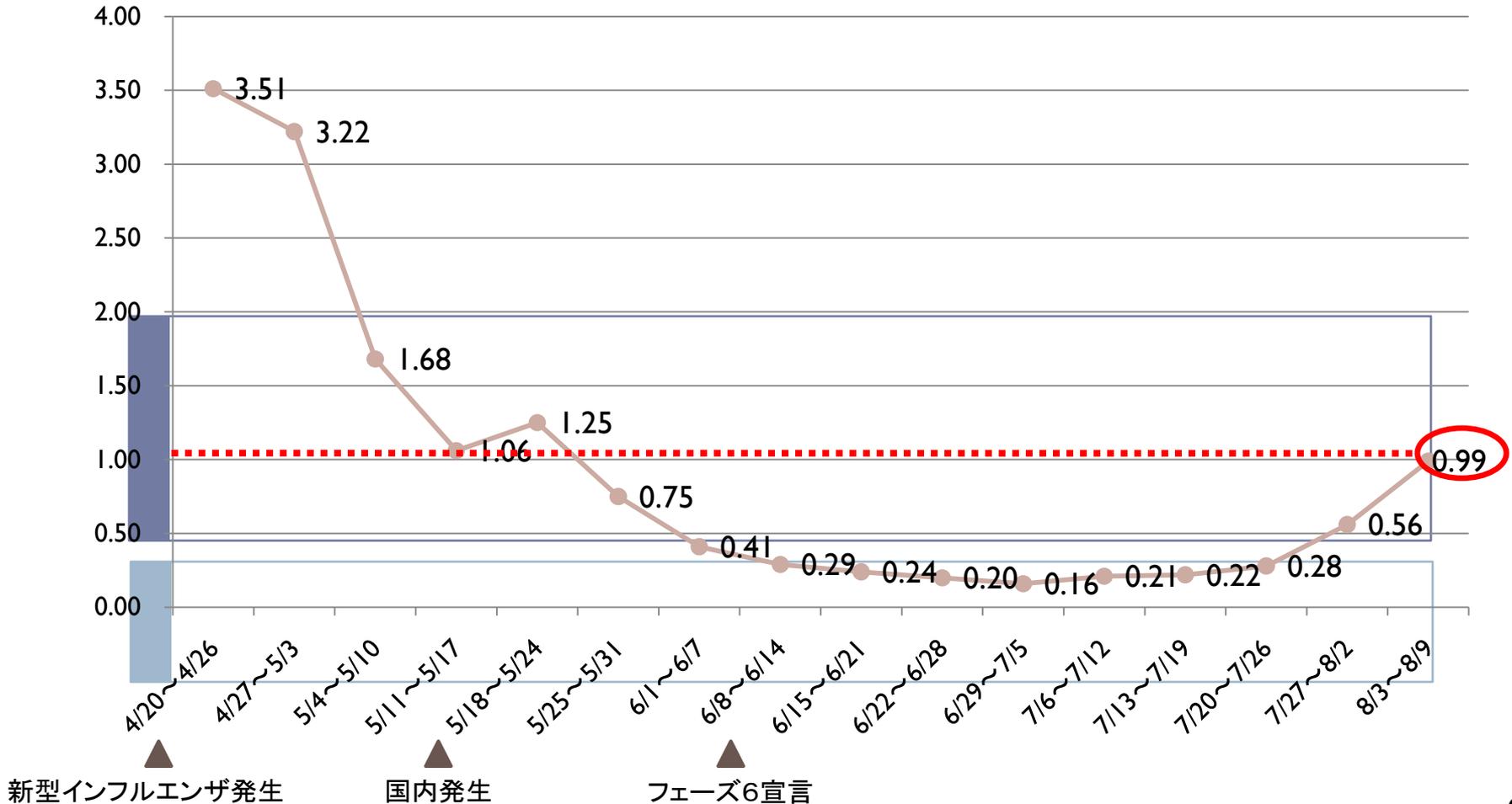


資料: 感染症発生動向調査(全国およそ5000医療機関(小児科およそ3000、内科およそ2000)からの定点報告)

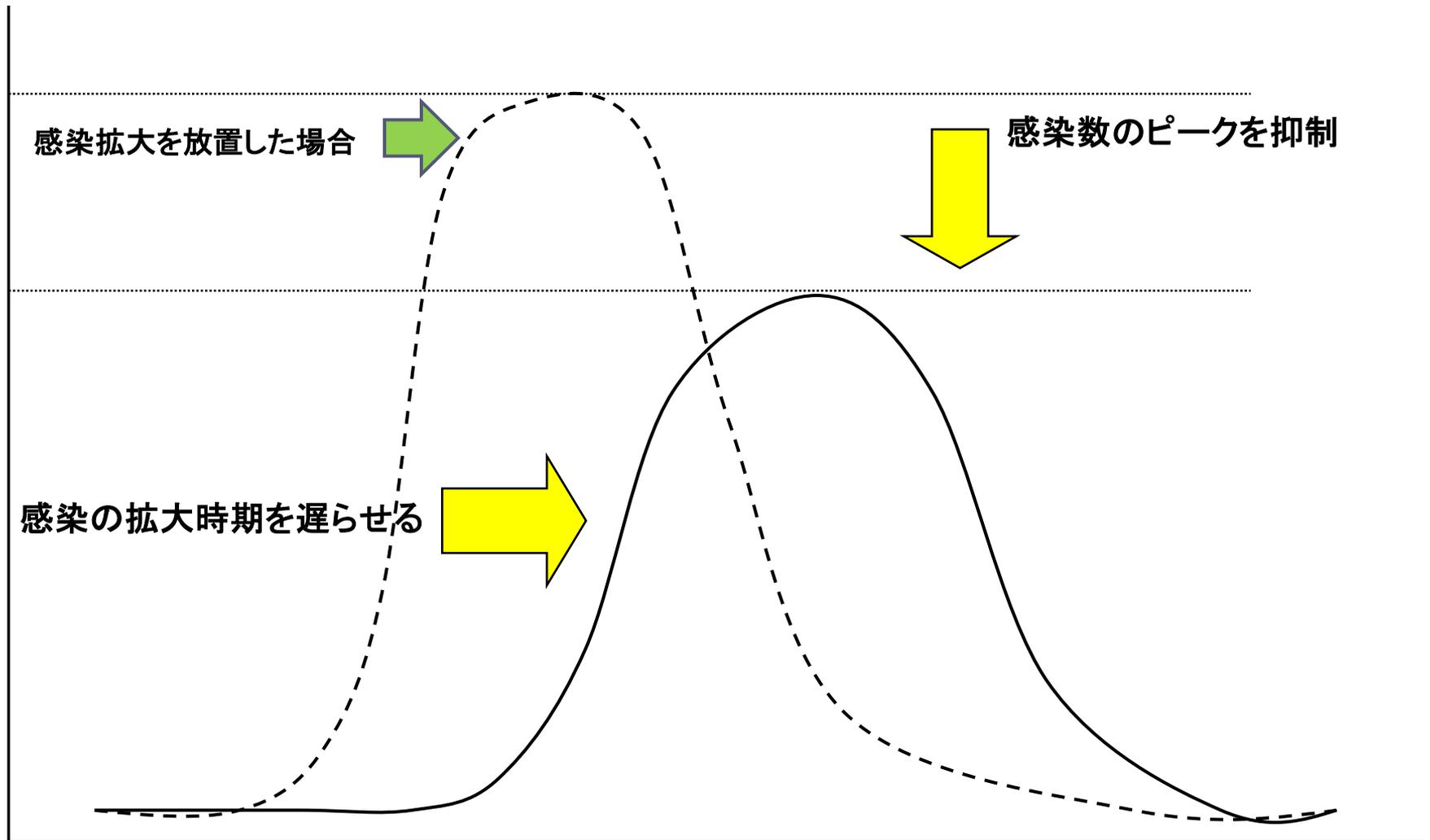
インフルエンザサーベイランス

平成21年 週別発生状況

定点あたり報告数



急激な患者数増加の抑制



国民の皆様をお願いしたいこと

○国民の皆様一人一人の徹底した感染防止対策の実施が最も重要

手洗い、うがいの励行

症状が出た方のマスクの着用、外出の自粛、人に咳やくしゃみをかけない咳エチケットの徹底

基礎疾患を有する方、妊娠中の方、乳幼児の保護者の方及び医療従事者の方をお願いしたいこと

○基礎疾患を有する方、妊娠中の方及び乳幼児の保護者の方へ

早期受診・早期治療を心がけてください

○医療従事者の方へ

基礎疾患を有する方、妊娠中の方への適切な情報提供を行ってください

院内感染対策防止への一層の配慮をお願いします

地方自治体と医療機関の間で、医療連携についてご検討をお願いします

厚生労働省の取り組み

- 重症化防止を最優先とする医療体制の整備、予防接種対策の推進
- 地方自治体と連携した適切な感染防止対策
- 医療機関に対する重症事例等を集めた症例集の配布
- 基礎疾患を有する方、妊娠中の方、乳幼児の保護者の方への情報提供の強化
- 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄

最後に

国民のみなさまひとりひとりが、

感染は自分が止める

という気持ちをもって、今後の流行期を乗り越えていけるよう、今後ともご協力をお願いいたします。